

「地区奉仕研修セミナー報告会」

2月3日卓話報告

千葉クラブ奉仕委員長



特別講演 近藤氏 Service とは、人と地域のニーズに最高に答えること！世代もロータリーも変化していく(良いも悪いも)クラブは修練の道場であり、色々学ぶ。学び易い雰囲気を作るのが奉仕員 理念提唱のみならず、行動に移す。

・5大奉仕 クラブ,社会,国際,職業,新世代(若返りが)。入れてもらえて光栄なクラブへ。高潔性が大事。一人一人の知恵の活用を。教育の重要性。世界で1位を目指す科学者に2位でいいとは失礼千万な話。職業(報酬)と奉仕とはニーズを最高に満足させることでそれを維持する為の資金が報酬。

・見返りを求めないが、次の奉仕の為、活動を維持するための源、として頂く正当な利益。従って、高潔性が最も求められる。家事も職業なので主婦の参加も妥当。ネットワーク作りで若者に繋げる、世界的なネットワーク。

・奉仕とは感動であり、また、奉仕へと続く。

分科会クラブ奉仕 ・クラブ奉仕は(世の為の前に)クラブの為に奉仕すること。役を引き受け、会員を増し、円滑にする。例会の頻度は週1回でも、隔週でもいいのではないかと。経済的負担の軽減は、奉仕活動より運営に費用が...

・クラブ地区の独自性。公益性は非営利団体も増加して官のパートナー。我々は今後、何処へ行こうとするか?組織強化を強めると多様性制限され衰退。会員減少は世界的傾向。経済不況と魅力減少。アンケートみると各クラブ歴史も文化も異なる。夜間例会や女性会員がいる所は退会者少。

・変えてならない事は変えない、変えていかなければいけない事を変えていく!

後藤職業奉仕委員長



基調講演の近藤氏のお話では、根本に戻った奉仕の概念を伺う事ができました。アメリカ発のロータリーの内容が翻訳される際に、日本人には上手く伝わってないことがあり、言葉の使い方が日本人にしっかりこないまま展開されているケースがとても多いと思います。奉仕という言葉ひとつにとっても近藤氏は詳しくお話しされており、「奉仕」はボランティアではない、と「奉仕の見返りは感動である」とおっしゃっていました。

事前に各RCへ奉仕活動アンケートをとったものをまとめたものを見ますと、クラブ奉仕、社会奉仕に関しましては各RCともかなりのバリエーションがありますが、職業奉仕となりますと、四つのテストの唱和・会員の自分の仕事に関する卓話・職場訪問・職場の従業員の表彰と、概ねこの4つとなっていました。それだけ、職業と奉仕をどう結び付ければ良いのかがしっかりきていないのかなと、皆さん苦労されているのかなと思いました。

ロータリーの職業奉仕の概念というのは、いわゆるCSR(Corporate Social Responsibility)企業の社会的責任と一緒に考えると、非常に近いものがあると思います。会社、企業が利益を追求するだけでなく、社会に望まれて存在しているのか、胸をはって「我々は皆さんに必要な会社である」と言えるかどうか...こういった概念がまさに職業奉仕であるなら、会員の皆様から仕事の姿勢について語って頂く機会をもっと増やすことが良いのかなと思われました。

2月度定例理事会 議事録

2011/02/03 13:30 ~ 14:00

1. 宮崎県訪問中止について

宮崎県内は、鳥インフルエンザ、火山噴火による降灰等で大変な状況であることを鑑み、今回の訪問は中止することと決定。上記に伴い、2/10(木)の例会を移動例会としていたが、中止となった為休会とし6/30(木)例会を休会から通常例会に変更する。

お肉の日募金について(本日の例会終了時で約10万の募金が集まっている)

当初は口蹄疫被害支援の目的で始めたが、現状他の被害も重なり大変な状況である。当クラブとしてただ義捐金を送るというのではなく、有効な方策はないかとの意見があり、宮崎の消費拡大が一つの方法であるとの意見で一致。

そこで、地元プロスポーツチームの支援も兼ねて、キャンブ地に宮崎県産品を送ることに決定。楽天とベガルタに申入れ、2/17(木)の例会で行えるよう段取りする。尚、宮崎県産品の調達等については、今回訪問予定であった、宮崎中央RCの協力を仰ぐ。

2. 中間決算報告 異議なく了承

3. 親睦夜間例会について(2/24 18:30~)

仙台料理「ほんま」にて開催。会員負担は¥5,000とする。

4. その他 卓話講師の紹介を依頼。

2月6日(日)

インターシティ・ミーティング

本年度のIMがロイヤルパークホテルにて開催されました。当クラブからは会員5名に出席いただきました。

